



ScholarOne Manuscripts リリースノート

リリース v4.22

ScholarOne Manuscripts

リリース 4.22 - 発行日: 2017 年 11 月



著者



Chris Heid

Product Lead, Publishing & Associations (製品リード、公開および関連事項)

Chris は、Clarivate Analytics の ScholarOne プラットフォームに関する製品管理を担当しています。これまでのプロジェクトには、査読者検索、発行者レベルのレポートおよび ORCID 統合などが含まれます。



Greg Kloiber

Sr. User Experience Designer, ScholarOne (シニアユーザー エクスペリエンスデザイナー、ScholarOne)

Greg は、ScholarOne Manuscripts および Abstracts の両方のプラットフォームで設計変更の一部を手がけました。最近では、Review Center for ScholarOne Manuscripts の改良を担当しています。

以下は、ScholarOne Manuscripts の v4.22 でリリースを予定している機能です。本書は、それぞれの機能について、デフォルトの設定値および設定に必要な時間に関する情報を記載しています。ご不明な点は、Chris Heid (434.964.4040) までお問い合わせください。

このリリースには、すべての ScholarOne Manuscripts ユーザーが直接影響を受ける機能強化や変更が含まれています。リリース前にユーザーに連絡し、影響を受ける可能性のある変更に備えられるようにしてください。その他の機能についてユーザーが新機能の恩恵を受けるためには、管理者や ScholarOne の担当者が機能を有効にする必要があります。

リリースの概略

このリリースの各機能のデフォルトの設定および値を以下に示します。

いずれかのデフォルトを変更するには、ScholarOne Manuscripts サイトの [ヘルプ] リンクからケースを送信し、ScholarOne にご連絡ください。

機能	概略
投稿の統合	<p>ScholarOne の v4.22 には、著述プラットフォーム、プレプリントサーバーおよび発行者ポータルなどのサードパーティシステムに対応し、API を介して論文ファイルおよびメタデータを ScholarOne へと著者に代わって投稿を開始する機能が含まれます。</p> <p>必要なアクション: リリース前にこの機能をテストするため、複数のパートナーおよびクライアントと個別に作業を進めています。このベータ期間中にはテストは行われません。</p>
異常なアクティビティの検出	<p>以下のような特長があります。</p> <ol style="list-style-type: none">1. [論文詳細] 画面における異常なアクティビティのアラート（編集者および管理者の役割タイプ）2. フルアクセス権を持つユーザーの詳細レポート（管理者の役割タイプ）3. すべてのフラグ付き投稿をまとめて表示する専用の管理者待ちリスト4. 決定後に文書からフラグをクリアする機能 <p>この機能は、発行コミュニティの改善のため無料で提供されます。</p> <p>必要なアクション: この機能は、設定により利用できます。</p>
ブランドの変更	<p>Clarivate Analytics ブランドへの移行を反映して、ScholarOne サイトのフッターに新しいロゴとフォントが表示されます。</p> <p>必要なアクション: この機能は、デフォルトで利用できます。</p>
Publons のオプション質問	<p>ScholarOne Manuscripts では、査読者が Publons サービスを選択できるようにするタスクベースの機能を提供します。これにより、Publons を組み込むたびに個別に質問を設定する必要がなくなります。</p> <p>必要なアクション: この機能は、設定により利用できます。</p>

査読者スコアシートのクイックリンク

今回の ScholarOne リリースでは、査読者スコアシートの 2 つの新しいリンクから、査読者が必要な情報に素早く、簡単にアクセスできるようになります。論文要旨および採否通知に対する著者の応答へのリンクが、各 [スコアシート] タブの一番上に表示されます。これまで論文要旨は、査読者のみが査読ダッシュボードの [アクション] ドロップダウンからアクセスが可能で、著者の応答はバージョン履歴から取得できました。

必要なアクション: この機能は、デフォルトで利用できます。

ORCID v2.0 API アップグレード

ScholarOne Manuscripts の 4.22 リリースでは ORCID との統合がアップグレードされ、ORCID v2.0 API をサポートします。

必要なアクション: この機能は、デフォルトで利用できます。

ポルトガル語とスペイン語の言語サポート

このリリースでは、ポルトガル語とスペイン語にも *ScholarOne Manuscripts* の言語サポートを拡張します。

必要なアクション: この機能は、設定により利用できます。詳細については、担当マネージャーまでお問い合わせください。

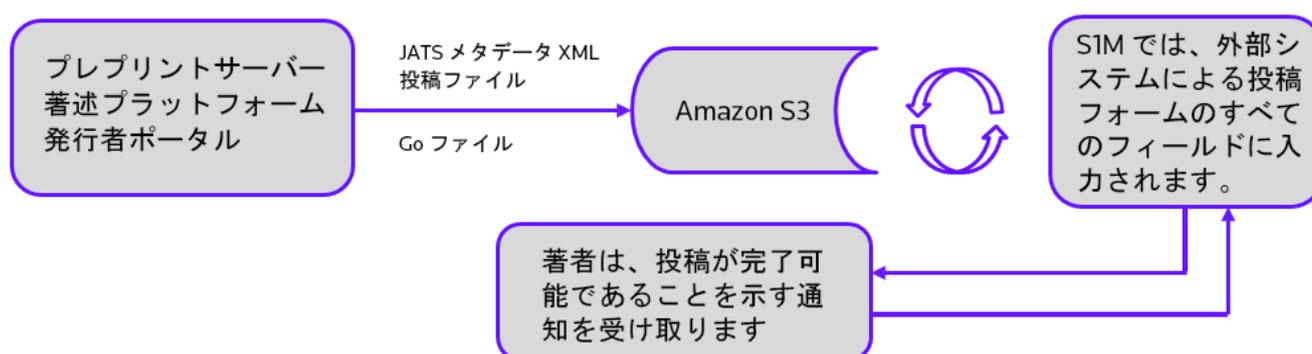
投稿の統合

ScholarOne の v4.22 には、著述プラットフォーム、プレプリントサーバーおよび発行者ポータルなどのサードパーティシステムに対応し、API を介して論文ファイルおよびメタデータを ScholarOne へと著者に代わって投稿を開始する機能が含まれます。

投稿統合は、ScholarOne プラットフォームへの重要な第一歩となり、著者と発行者の両者に検索エコシステムにおける重要な接続を提供します。著者の場合、統合により、審査前にプレプリントサーバー、コラボレーティブな著述環境およびコンテンツが存在する他の場所の間にゲートウェイが確立されます。このゲートウェイにより著者は、論文ファイルおよび記事メタデータを JATS XML ファイルで提供する外部システムで、ScholarOne 外から簡単に投稿を開始することができます。これらのファイルは ScholarOne で処理され、草稿の投稿には、著者用に作成されたすべてのメタデータが含まれます。また、v4.22 リリースは、記事改訂の外部投稿と再投稿にも対応します。

発行者の場合、投稿統合により、新しいパートナーシップのチャンスが生まれます。ScholarOne の実装はシステムに依存しません。発行する雑誌ごとにサードパーティシステムで設定することもできます。

ScholarOne チームは現在、bioRxiv、Chronos および Authorea などのパートナーと協力し、このリリース以降でこれらとの統合を開始する予定です。また、他の多数のパートナーとも積極的な検討を進めており、2018 年には実現予定となっています。所定のパートナーが統合を予定しているかどうかを確認するには、[ScholarOne チーム](#)までお問い合わせください。



「...どのような形でも、ピアレビューは、学術記録の有効性を保証するうえで重要な役割を果たします。このプロセスは、信頼度に大きく左右されるため、参与するすべての人が責任を持って、倫理的に行動することが求められます...」

- ピアレビュー担当者の COPE 倫理ガイドライン

機能 – 異常なアクティビティの検出

概略

雑誌の撤回を回避および削減し、発行される記事の信頼性を保証するため、ScholarOne では、投稿および査読中にユーザーの異常なアクティビティを検出するアルゴリズムを実装します。雑誌は、査読者が著者から推奨される場合や、査読者が機関以外の E-Mail アドレスを使用する場合など、既存の Web トラフィックおよびサーバーデータに基づいた独自のアルゴリズムを使用して、論文のリスクインジケータを確認できます。これらの要素自体がアラートをトリガーすることはありませんが、他のアクションと組み合わせることで、投稿のリスクレベルが上昇する場合があります。

この機能でレポートを使用する場合の表示範囲は、発行者、編集者および管理者役割タイプに限定されます。パブリック、著者および査読者には、組織で使用することを公表しない限りは承知しません。

[この機能の詳細については、RetractionWatch.com の記事を参照してください。](https://www.retractionwatch.com)

異常なアクティビティのインジケータ

標準アクセス（デフォルトでは編集者役割）

異常なアクティビティが検出された場合、[論文詳細] 画面に黄色または赤のステータスインジケータが表示されます。標準アクセスを持つ編集者および管理者役割の場合、インジケータが表示されます。フルアクセスを持つユーザーの場合、レポートへのリンクも表示されます。デフォルトでは、編集者は標準アクセスを持ちます。

論文詳細に表示される高リスクアラート

Manuscript Details

Manuscript Details interface showing a high-risk alert. The alert message is: "{0} 時点でこの投稿に高率の異常なアクティビティが検出されました。詳細については、フルアクセス権を持つユーザー（通常は管理者）にお問い合わせください。説明". The interface includes a sidebar with "Manuscript Information", "Audit Trail", and "Manuscript Files". The main content area shows submission details for "WRK4-2018-10-0046" and a "Reviewer List" section.

中リスクアラート

Medium-risk alert message: "{0} 時点でこの投稿に何らかの異常なアクティビティが検出されました。詳細については、フルアクセス権を持つユーザー（通常は管理者）にお問い合わせください。説明". The message is displayed on a yellow background.

フルアクセス（デフォルトでは管理者）

異常なアクティビティが検出された場合、[論文詳細] 画面に黄色または赤のステータスインジケータが表示されます。フルアクセスを持つユーザーには、レポートへのリンクを含むインジケータが表示されます。デフォルトでは、管理者はフルアクセスを持ちます。

高リスクアラート

High-risk alert message with a "Report" button: "{0} 時点でこの投稿に高率の異常なアクティビティが検出されました。説明" and "レポート". The message is displayed on a red background.

中リスクアラート

Medium-risk alert message with a "Report" button: "{0} 時点でこの投稿に何らかの異常なアクティビティが検出されました。説明" and "レポート". The message is displayed on a yellow background.

フラグ付き投稿のクリア

決定が下されると、レポートページを使用して、フルアクセスを持つユーザーがフラグをクリアできます。

このレポートを確認し、投稿をクリアして続行します。この情報が今後の参考のために記録されることに同意します。

理由とメモ

 印刷
投稿をクリア

クリアすると、フォームの一番上にメッセージが表示されます。



また、異常なアクティビティインジケータが緑に変わります。

標準アクセスビュー



フルアクセスビュー



投稿の「説明」情報ポップアップ

すべての異常なアクティビティインジケータには、ハイパーリンク「説明」により、情報ポップアップへのリンクが含まれます。このポップアップは以下の情報を含みます。

- 機能の情報と説明
- 業界にとって重要な理由
- 異常なアクティビティが疑われる場合に雑誌の次のステップ
- 法的事項

誌名の名前

異常なアクティビティを検出しました

説明

異常な投稿およびピアレビューのアクティビティを防止するため、ScholarOne では、雑誌による詳細な調査が必要なアクションを検出するプログラムを開発しました。

雑誌スタッフは、すべての投稿と査読でリスク指標を確認できます。この指標のステータスは、著者から査読者が推奨された場合や、査読者が機関以外の E-Mail アドレスを使用する場合などに、Web トラフィックやサーバーデータを分析する独自のアルゴリズムを使って算出されます。

重要である理由

著者および査読者が「システムを誤用」した場合、雑誌の整合性や信頼性が損なわれる危険性があります。

特に、ピアレビューは、公開される論文の品質および有効性を保証するための重要な要素となります。ピアレビューは、適性が認定された経験豊かなピア（同僚）による公平な意見に基づきます。しかし、どのようなシステムでも、誤った手順が実行される恐れがあります。新しいアルゴリズムでは、このような手順を防止します。

異常なアクティビティが疑われる場合にどうすればよいか

このサイトの目次に示された雑誌およびまたは発行者のガイドラインを参照してください。また、雑誌の管理者に詳細を相談することもできます。

詳しくは、出版倫理委員会の [COPE Web](#) サイトをご覧ください。

法的事項

[使用条件](#) | [プライバシーに関する事項](#) | [Cookie ポリシー](#)

© Clarivate | © ScholarOne, Inc., 2017. All Rights Reserved.

管理者待ちリスト

管理者は、「異常なアクティビティ」という新しい待ちリストで現在フラグ付きのすべての投稿を確認できます。



レポート

フルアクセスを持つユーザーは、この投稿のリスクレベルを上昇させるアクションの詳細レポートを含むポップアップを確認できます。このレポートの機密保持により、詳細はリリースノートに表示されません。

誌名の名前

✓ {1} が {0} でクリア

備考: We do research on the author and Reviewer yarrow nuclear rubidaga endive cauliflower sea lettuce kohlrabi amaranth water spinach broccoli bokkon napa cabbage asparagus winter purslane kale. Cherry potato scallion dandelion raven horseradish spinach carrot zucchini

異常なアクティビティレポート

以下の投稿は、異常なアクティビティがあるため、雑誌スタッフが評価する必要があります。

レポート日

HH:MM MMM DD YYYY

論文 ID

ABC-004563-2018

タイトル

"Powered application passive matrix fully development fragmentation element plasma transformed embedded dynamic duplex engineered matrix super with reverbated microscope, key developer internet equipment linear signal services sampling record scan proxy dynamic duplex engineered matrix super with reverbated microscope, key developer internet equipment linear signal services sampling record scan proxy"

印刷

査読所要時間が異常に短い

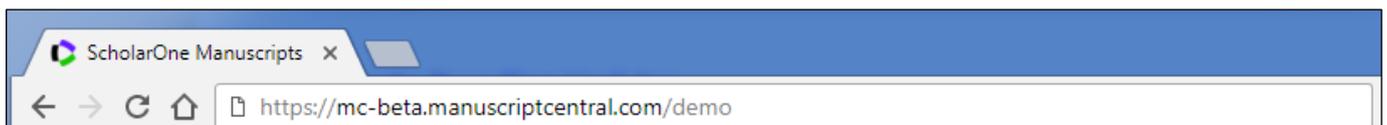
- 1. Reviewer: Fredrums Ledtrams (0 days, 2 hours)
- 2. Reviewer: Fredrums Ledtrams (1 days, 2 hours)
- 3. Reviewer: Fredrums Ledtrams (2 days, 2 hours)
- 4. Reviewer: Fredrums Ledtrams (3 days, 2 hours)

Clarivate ブランドの更新

ScholarOne Manuscripts の v4.22 リリースには、Clarivate Analytics に対応する新しいブランド要素が盛り込まれます。大半の変更は各 Manuscripts サイトのフッターに限られます。ここでは、元の ScholarOne ロゴが更新され、オレンジと白の Thomson Reuters ロゴは白の Clarivate Analytics ロゴに置き換えられます。また、ScholarOne の「使用条件」および「プライバシーに関する事項」へのフッターのリンクも更新されます。新しい査読者センターなど、ScholarOne Manuscripts の新しくなった部分は、「Knowledge」という Thomson Reuters の専用フォントで表示されています。v4.22 リリースでは、これらのセンターが、Clarivate Analytics の選択フォント「Source Sans Pro」で表示されるようになります。



最後に、ScholarOne Manuscripts での favicon（ファビコン: お気に入り/ショートカットアイコン）表示が Clarivate の「Lens」に変更されます。Favicon は通常、一般的なブラウザのタブやブックマークの表示に使用されます。



査読者の Publons オプション

Publons は Clarivate Analytics 内で取り扱われ、雑誌の査読ポリシーに基づいて、審査貢献に対する認知を直ちにピアレビュー担当者に提供します。ScholarOne Manuscripts は現在、Publons との API ベースの統合を提供しており、ScholarOne 査読者スコアシートのカスタム質問でサービスを選択した査読者の Publons に、査読メタデータを自動的に送信できます。このメタデータ統合により、査読者は面倒な作業にも簡単に認知を得ることができます。

ScholarOne の v4.22 では、査読者スコアシートのオプション質問を、カスタム質問から各査読/スコアシートタスクの設定可能な機能へと変更することで、Publons の統合が改善されます。このアップデートでは、ScholarOne の雑誌に以下のメリットを提供します。

- 新しいオプション機能が ScholarOne のコードに組み込まれるため、[タスク設定] セクションからワンクリックで有効化できます。カスタム質問をフル設定する必要はありません。
- このオプション機能がカスタム質問ではなくなったため、スクリプトから簡単に多数のサイトで有効化できます。
- このオプション機能がカスタム質問ビルダーのフォーマット制限に左右されることがなくなり、Publons ロゴを含む追加のデザイン要素が盛り込まれました。
- 発行者は、発行者の Publons ポータルにレビューを送信できるように、「Publons に関する詳細」リンクを設定できます。
- Publons の査読オプションをレポートする専用 Cognos フィールド。

備考: 現在、カスタム質問により Publons と統合されているサイトは、通常に機能しますが、新しいタスクベースの機能には自動的に切り替わりません。リリース後数か月以内に、すべての Publons クライアントが移行できるように作業を進めます。

Ringgold による日本語ベースの所属機関向けに翻訳された名称表示

ScholarOne Manuscripts では、ユーザーの所属機関が Ringgold *Identify* データベースと統合されます。このデータベースは、一意の識別子を含む機関名の標準化レジストリであり、ユーザーが所属機関を入力するときに、先行入力検索により、該当する機関を選択できます。ScholarOne で選択した機関に表示される名称は、Ringgold のプライマリ名レコードです。Ringgold の編集ポリシーに基づいて、英語以外の言語による機関のプライマリ名は、英語に音訳して表示されます。英語の翻訳が好まれる日本のユーザーからの要望が多く、日本向けの組織では、プライマリの音訳ではなく、代わりに英語の翻訳が表示されるようになります。この変更は、該当する機関への Ringgold ID には影響を及ぼしません。名称の表示のみが変更されます。

ORCID v2.0 API へのアップグレード

Scholar Manuscripts の v4.22 リリースでは、ORCID との統合が ORCID v2.0 API にアップグレードされます。この更新は、ScholarOne を ORCID の最新技術に移行し、ScholarOne Manuscripts で新しい ORCID 機能の来年の実現を目指しています。

ポルトガル語とスペイン語の言語切り替え

ScholarOne Manuscripts の言語切り替え機能は、v4.22 リリース以降、ポルトガル語とスペイン語のサイトをサポートします。言語切り替え機能は、中国語、英語、フランス語および日本語にすでに対応しています。言語切り替えの詳細については、担当の ScholarOne リレーションシップマネージャーにお問い合わせください。